

履修登録の有無にかかわらず、多くの学生、教職員の方の聴講を歓迎いたします

2026年度 春学期・夏学期開講

科学技術政策特論

第9回講義

原子力安全保安院から 原子力規制委員会・原子力規制庁へ

原子力規制委員会委員
長崎 晋也 氏

「メッセージ」を記載願います。

2011年の東京電力福島第一原子力発電所事故(1F事故)を受けてのいわゆる国会事故調報告書にある「規制の虜」などの反省に立ち、2012年に環境省の外局として独立性の高い組織として原子力規制委員会・原子力規制庁が発足しました。

本講義では、1F事故の前後で日本の原子力規制がどのように変化したのか、また1F事故から15年、設立から14年が経過した原子力規制委員会・原子力規制庁にはまだどのような課題が残っているのか、また指摘されているのかを紹介するとともに、講師のカナダでの経験の日本へのフィードバックもお話したいと思います。学生の皆さんが日本における科学技術政策を考える際の一助となれば幸いです。

日時：6月12日(金)

5講目 16:30-18:00

受講方法：

オープンホールによる対面授業

長崎 晋也 先生

高知県出身。東京大学工学部卒業、東京大学大学院工学研究科修了。

昭和63年四国電力株式会社入社。東京大学工学部助手、講師、助教授、教授、McMaster University, Department of Engineering Physics 教授を経て、令和6年9月より現職。

担当：工学系教育研究センター 小崎 完教授